

白毛門（1750m）～朝日岳（1945m）

期 日 2012年5月3日(夜)～5月5日

参加者 福澤卓三

記 録 5月4日 登山口(6:30)－松の木の頭(9:15)－白毛門
(11:15)－笠ヶ岳(14:00)－幕営地(14:30)
5月5日 幕営地(6:30)－朝日岳(7:40)－笠ヶ岳
(9:00)－白毛門(11:30)－登山口(15:30)

5月4日

前夜、馬蹄形を縦走する計画で土合駅まで車で入り仮眠した。早朝土合橋の手前の駐車場まで車で入り、軽く朝食をとって出発した。駐車場奥に登山口がある。しばらく川沿に進み、すぐにかんりの急な登りが続く。高校の登山部の生徒たちに追い抜かれる。縦走の装備と食料を持っている身にはきつい登りである。トレーニングだと思っても、根性だけではどうしようもなく足に来る。雨が降り出し雨具をきる。途中で高校生たちが下りてくる。雪渓が出てきたので下りてきたとのことである。途中ところどころ残雪があったが、上部はかなり残雪があった。松の木の頭までで相当ばてた。縦走路の中に何箇所か岩も出てきて、5Mほどだがバランスがとりづらく疲れる。白毛門下の雪渓はびっしりと雪があり、下も切れていて結構緊張する雪渓である。天気も悪く、体力・気力もかなり使い6時間かかって白毛門についた。

白毛門山



そこから笠ヶ岳までも、北アルプスの縦走とかわらないくらいの残雪があり、途中で少し歩く夏道の雪が溶けている程度で、ほとんど雪の上を歩いた。笠ヶ岳までは、3時間弱か

かった。頂上から少し行ったところに避難小屋があったが、行かれるところまで行こうと迷うことなく通過した。笠ヶ岳と朝日岳の鞍部にビバークサイトにちょうど良い雪渓があり天幕をはった。夜は冷え込み、かなり強風があり張綱をしっかりとっておいてよかった。温度が低くブタンガスが途中でつかなくなりまいった

笠ヶ岳の頂上



朝日岳の頂上



5月5日

昨夜はブタンガスが寒さのために使用できなかったの、シュラフの中にボンベを入れて寝たら朝は快調に火がついた。それにしても天気が悪い。隣のパーティーが、今日の天気予報を教えてくれる、一日かんばしくないないとのことで気がめいる。それでも谷川岳めざして出発する。1時間ほどで朝日岳についたが、風もあり、空模様も心配で、昨夜隣の天幕にいた他のパーティーは幕営地から引き返した。自分一人になってしまい、行ったり、戻ったりしながら結局ひきかえすことにした。しかし白毛門に着くころには天気が回復していた。残念だったけどしかたがない。一人の山行は荷が重く弱気になる。それにしても下りの雪渓も悪く、ところどころ緊張して下山した。松の木の頭から、ほんとうに長く感じた。